

報 道 資 料

平成29年12月22日

地域振興部市町村振興課行政係

0742-27-8419(内線2252)

担当：酒井・中野(総括)、片桐(定員)、浅井(給与)

県内市町村の定員と給与の状況について（平成28年）

平成28年の「地方公共団体定員管理調査」及び「地方公務員給与実態調査」の結果について、県内市町村の状況を全国比較等により発表します。

(参考) 冊子 グラフ・図表編

資料 1	平成28年全国市区町村における奈良県内市町村の人口1千人あたり職員数の状況	1
資料 2	県内市町村の人口1千人あたり職員数の対前年比較 (H27→H28)	2
資料 3-①	県内12市の職員数の推移	3
資料 3-②	県内15町の職員数の推移	4
資料 3-③	県内12村の職員数の推移	5
資料 4	奈良県内各市町村の職員数の健康診断表	6
資料 5-①	県内12市の部門別職員数の類似団体との比較	7
資料 5-②	県内15町の部門別職員数の類似団体との比較	9
資料 5-③	県内12村の部門別職員数の類似団体との比較	12
資料 6	平成27年全国市区町村における奈良県内各市町村のラスパイレス指数の状況	14
資料 7	県内市町村ラスパイレス指数の対前年比較 (H27→H28)	15
資料 8	奈良県内市町村のラスパイレス指数の推移	16
資料 9-①	奈良県内12市のラスパイレス指数順位の推移 (過去5年分)	17
資料 9-②	奈良県内15町のラスパイレス指数順位の推移 (過去5年分)	18
資料 9-③	奈良県内12村のラスパイレス指数順位の推移 (過去5年分)	19
資料10	奈良県内各市町村のラスパイレス指数の健康診断表	20
資料11	奈良県内市町村の「わたり」の状況について	21
資料12	奈良県内市町村の地域手当及び初任給について	22
資料13	県内市町村の職員数の状況 (H28.4.1現在)	23
資料14	県内市町村の類似団体と比較した部門別職員数の状況一覧	24
資料15	平成27年度部門別職員数の状況 (参考資料)	25
資料16	H28.4.1現在 県内市町村のラスパイレス指数及び関連支給状況一覧	26
資料17	H27.4.1現在 県内市町村別 技能労務職の職員数及び給与の状況	27

1. 定員（職員数）の状況

○ 県内市町村総職員数は12,517人（H28.4.1現在）

○ 前年度との比較（H28-H27比較）

増減数 ▲ 209人

増減率 ▲ 1.64%（全国平均 ▲0.14%）

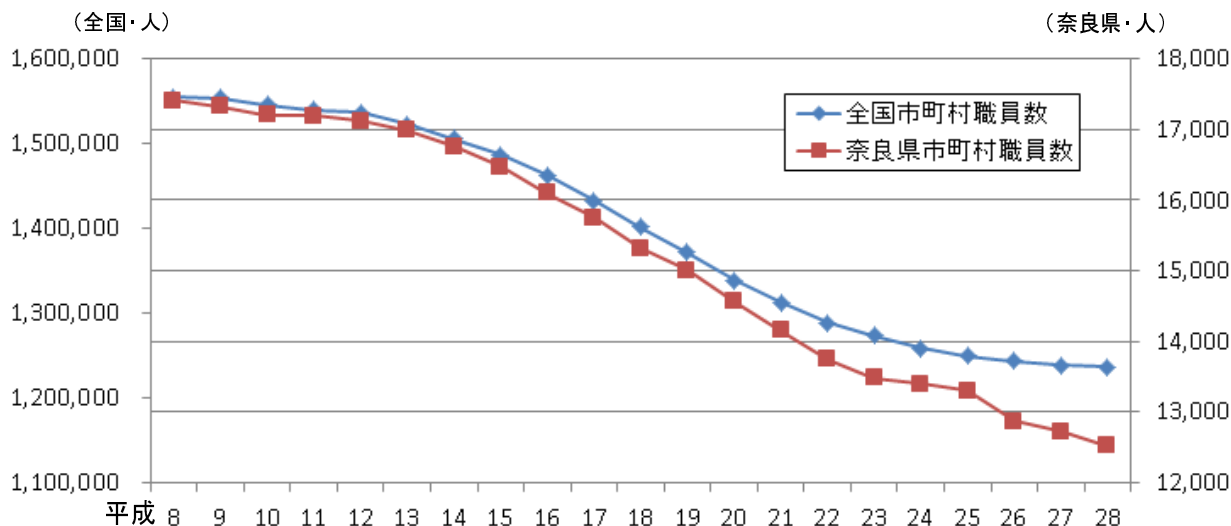
※市で最大の削減率は奈良市の▲1.00%、町村で最大の削減率は大淀町の▲43.7%

○ 過去5年間の比較（H28-H23比較）

増減数 ▲ 960人

増減率 ▲ 7.12%（全国平均 ▲2.88%）

※市で最大の削減率は五條市の▲21.83%、町村で最大の削減率は大淀町の▲45.70%

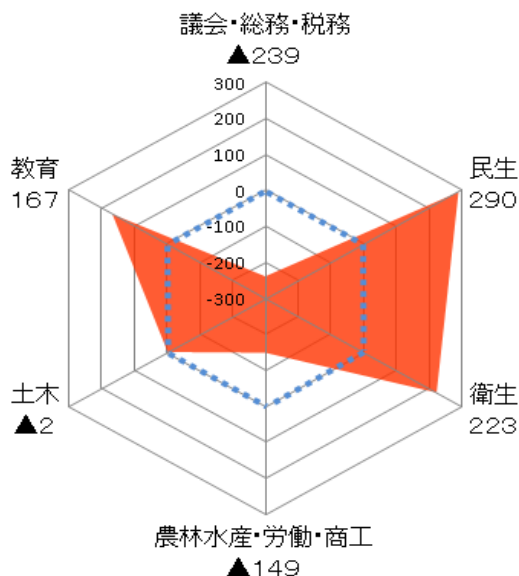


県内市町村総職員数は、12,517人で**20年連続して減少**。この間に**4,898人**が減少し、総職員数は約**3/4(72%)**となった。各市町村が削減の努力を続けてきたことが分かる。

※ 公営企業等会計部門（病院、水道、下水道等）を除いた県内市町村職員数は前年比71人（0.68%）増加

【参考】全国平均との比較（H27）

全国平均：人口規模と産業構造が似た全国の市町村（類似団体）ごとに算出した職員数の平均値



奈良県内市町村計 **超過数 297人**

〔 左記部門計(+290) + 消防部門計(+7) 〕

・超過人数は、前年と比べて91人減少

・類似団体と比べて**職員数が多い**のは、民生部門、衛生部門、教育部門 (+290人) (+223人) (+167人)

[主な理由]

民生部門…公立保育所職員の重点的配置等
衛生部門…清掃業務の直営等
教育部門…給食業務の直営及び公立幼稚園の重点的配置等

・類似団体と比べて**職員数が少ない**のは、議会・総務・税務、農林水産・労働・商工 (▲239人) (▲149人)

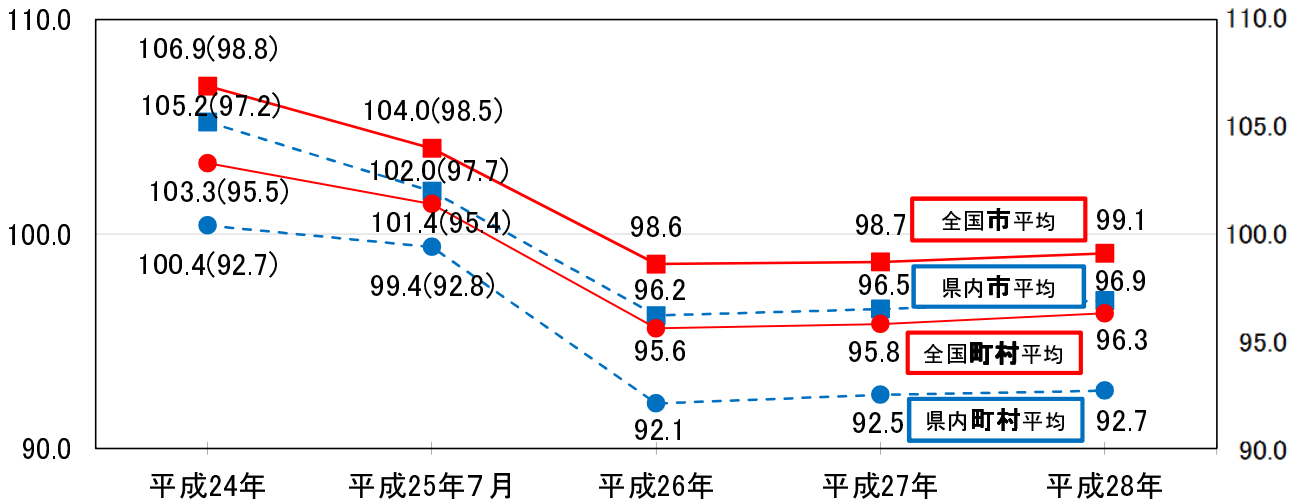
県内市町村の職員総数は減少しているが、**民生・衛生・教育の分野では類似団体と比較して超過傾向**にある。民間委託可能な業務についてはアウトソーシングを進めるなど、効率的なサービス提供体制の構築が求められる。

2. 給与の状況

県内市町村のラスパイレス指数は、全体として**全国平均よりも低い傾向**にあるが、一部団体において不適切な給与制度の運用が見られるところであり、是正が求められる。

(1)ラスパイレス指数(H28.4.1現在(過去5年間比較))

- ラスパイレス指数とは、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国家公務員の俸給月額を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で表したものの。
- 県平均のラスパイレス指数は、過去5年間いずれの年も、市・町村とも全国平均を下回っている。



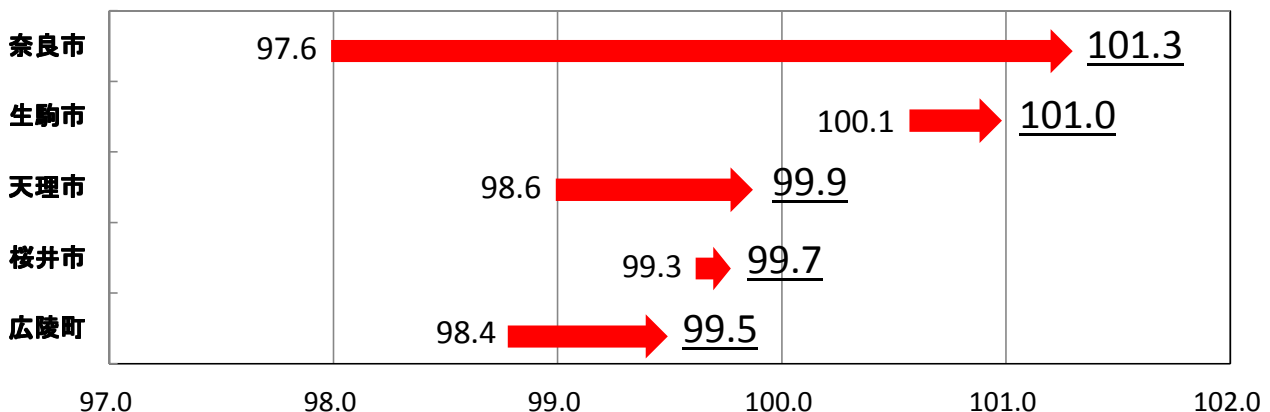
※ 平成24年及び25年のラスパイレス指数は、給与改定特例法により、国家公務員給与が平均7.8%減額を反映した値。

※ 平成24年及び25年の括弧内の数値は、国家公務員の時限的な(平成24年4月～平成26年3月末)給与改定特例法による措置が無いとした場合の参考値。

(2)ラスパイレス指数が全国平均*(99.3)以上の市町村(5団体)の状況(H27.4→H28.4)

- 全国平均以上の5団体は、全て前年度より上昇している。

* 全国平均: 全地方公共団体の平均値



※奈良市は、H27年度まで実施されていた給与削減措置が終了したため、ラスパイレス指数が上昇した。

(3)給与制度・運用の状況

「わたり」の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたり」とは、職務に対応する級(国の基準)よりも、上位の級に格付けすること。 ・「わたり」の制度がある県内市町村は、2団体(※奈良市、生駒市)。 ※奈良市はH29年度から解消。
初任給基準の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・国の初任給基準を上回っている市町村は、大学卒で3団体(奈良市、生駒市、宇陀市)、短大卒と高校卒ではそれぞれ6団体(奈良市、生駒市、宇陀市、御所市、平群町、三宅町)。